

山岳地図集

ヒマラヤの東—チベットのアルプスとその彼方

「不思議なことである。中国の領内には広大な山系が存在するが、それらは西側の世界だけでなく、中国の人たちにも全く知られていない。」

ジョセフ・ロック

ナショナル・ジオグラフィック 1930年 10月

『中国登山指南 *A Guide to Mountaineering in China*』（中国登山協会・成都地図出版社共編 1993）の冒頭の「中国高峰分布図」ご覧頂くと「チベットのアルプス」の核心部、最も未踏域の多い念青唐古拉山東部と崗日嘎布山群がすっぽり抜けて、白紙になっていることに気付くであろう。中国の登山界にとってもこの二つの広大な山系は地理上の空白部として扱われてきた。

「チベットのアルプス」念青唐古拉山東部から横断山脈の東縁まで、この神秘的な辺境には無数の未踏峰が存在する。信じがたいほどの複雑な地形がこの山域を特徴づけている。その一部はこれからも長く不可解な土地として残るであろう。知られざる未踏峰と氷河が最も集中している念青唐古拉山東部、易貢蔵布の北側は今日でも「テラ・インコグニタ（未知の世界）」である。80年前のジョセフ・ロックの言葉は生きている。この地図集では、さらに南チベット—東ヒマラヤも加え、中国・ブータン国境沿いとマクマホンライン上の未踏の山々も視野に入れた。

目を瞑ると変化に富んだ多様性のある広大な中国南西辺境の情景—青蔵高原の東縁、南チベットの東ヒマラヤ、チベットのアルプス、深い浸食の国、カムとアムド地方、アジアの大河の源流の山と風土—が臉に浮かび感慨深い。6,000mを超える未踏峰がこれほどたくさん残っている山域が他に存在するだろうか。中国・ブータン国境沿いに30座、マクマホンライン上—25座以上、念青唐古拉山東部—200座、崗日嘎布—40座、三江併流・深いゴルジュの国—20座、四川西部高地—10座も存在する。最後の辺境と表現する所以である。南チベットの東ヒマラヤ、中央チベットの東端、南チベット、チベットのアルプス、アジアの四つの大河の源流域の山々を地図と写真で紹介する本地図集が、これから半世紀は価値を失わない作品として評価されれば幸いである。

目次

[地理学的考察]

ヒマラヤの東とは

気象と氷河の発達

- 1) ブータンの氷河
- 2) 中国の氷河
- 3) 念青唐古拉山東部
- 4) 崗日嘎布山群
- 5) 横断山脈

地形図・山峰図・行政地図

- A. 王立地理学協会・エベレスト基金（英国） B. 国防省地図局（米国）
C. ロシア（旧ソ連）地形図 D. 中国の地形図・山岳地図

[最後の辺境]

初期の探検 登山史的背景 厄介な入域許可問題 開発のパラドックス—遠ざかる辺境

[山系と探検・登山史の概説]

I 中央チベットの東端・南チベットと東チベット

1. ヒマラヤの東端

- 1) 中国・ブータン国境
 - 2) ガンカー・プンスム
 - 3) ラサの南
 - 4) クーラ・カンリ
 - 3) マクマホンラインに沿って
 - 4) ナムチャバルワ
 - 5) ギャラ・ペリ山塊
- 追記：郭喀拉日居

2. 念青唐古拉山山系

- A. 念青唐古拉山西部（中央チベット東端） 1) 地理と探検 2) 初登頂の記録
B. 念青唐古拉山東部（東チベット）

- 1) 山系の概説
- 2) 初期の探検
- 3) 科学的調査
- 4) 同時代の遠征

山群-1（主脈）：易貢蔵布の北西 — セブ・カンリおよびその東側の山群

山群-2（支脈）：易貢蔵布の南 — 嘉黎から八松湖周辺にかけての山群

山群-3（主脈）：易貢蔵布の北 — ツァンポー・サルウィン分水嶺の主脈中央部

山群-4（主脈）：波堆蔵布の周辺・帕隆蔵布の北 — 主脈最東端の山群

3. 崗日嘎布山群

- 1) 地理的概説と探検史
- 2) 踏査概要とロプチン峰 6,805m初登頂

II 横断山脈—東南チベット・雲南・四川

1. 深い浸食の国—ロヒト・イラワジ源流から三江併流地帯

- 1) イラワジ川源流域の山（ミャンマー北部・チベット自治区）
- 2) 伯舒拉嶺（チベット自治区）—高黎貢山（雲南省）
- 3) サルウイン・玉曲（サルウイン支流）分水嶺（チベット自治区）
- 4) 他念他翁山（チベット自治区）
- 5) 怒山（チベット自治区—雲南省）
- 6) 芒康山・雲嶺（チベット自治区—雲南省）
- 7) 玉龍雪山と中甸高原（雲南省）

2. 四川省西部高地（揚子江流域）

2-1 金沙江と雅 江の間

- 1) 雀兒山山群
- 2) 沙魯里山山系
 - (1) 岡嘎山塊
 - (2) 扎金甲博山塊
 - (3) 夏塞山塊
 - (4) 央莫龍山塊
 - (5) 貢嘎雪山
 - (6) 相丘切克山塊
 - (7) 格 峰および北側の山塊

2-2 雅礮江と大渡河の間

- 1) 工卡拉山山群 喀洼老熱
- 2) 大雪山山系
 - (1) 海子山（雅拉山）—ジャ・ラ
 - (2) 夏羌拉山塊
 - (3) 蓮花夕照連山
 - (4) ラモ・シェ（田海子山）山塊
 - (5) ミニヤ・コンカ（貢嘎山）山群
 - (6) 中人峰山塊

2-3 大渡河の東

- 1) チョンライ山—四姑娘山と岩峰群
 - (1) 四姑娘山
 - (2) 岩峰群
- 2) 大渡河流域の山
- 3) 珉山山塊

III アジアの大河の源流域

- A. 各拉丹冬山塊—唐古拉山山系（1）—揚子江（長江）水源—
- B. 布加崗日—唐古拉山山系（2）—サルウィン川（怒江）源流部—
- C. メコン川（瀾滄江）源流—水源と山塊—
 - 1. メコン川水源探査の歴史
 - 2. メコン川源流の山々
 - （1）曲阿加吉瑪山塊
 - （2）色の 5,770m および 5,876m を最高峰とする山塊
 - （3）昂爪涌曲・昂納涌曲源流の山塊
- D. アムネマチン（瑪卿崗日）—かつての謎の山
- E. 年保玉則・青海省—鋸の歯のような岩峰群
年保玉則の登攀史 将来のクライミング・パラダイス